

半 日 旅 行

公益委員 田中 佐和子

6月初旬に、妹と二人で「指宿のたまたま箱」に乗って指宿へ半日旅行に出かけました。

私は、以前、県外の友人を案内して乗ったことがあったのですが、妹は初めての乗車でした。地元だとかえって乗る機会がないようです。

この旅行は、妹の誕生日のお祝いです。今までは、お互いの誕生日にはプレゼントを贈ってきたのですが、今年からは、どこかに二人で出かけることにしないかという私の提案に、妹も賛成してくれたので、第一回目の旅行となりました。

昨年、父が亡くなり、一緒に過ごす時間が、とても大切な思い出になることにあらためて気づかされたせいか、自然と妹と出かける時間をもちたくなりました。

とはいえ、お互い、仕事や家族のこと、何より二人で協力している母の世話にも時間が必要で、泊りの旅行は無理なので、今のところは半日くらいの遠出が精一杯なのです。

当日は、「指宿のたまたま箱」のカウンター一席に二人並んで座り、海を眺めながら指宿駅に到着しました。駅前のパン屋でお土産のパンを買い、普通列車で薩摩今和泉駅に折り返し、駅のすぐ近くの古民家のお食事処で、炊き立ての土鍋ご飯と美味しいお膳のお昼ご飯をいただき、また列車に乗って帰ってきました。

妹とは家もすぐ近くで、母のことでほぼ毎日顔をあわせていますが、やはり少しいつもと違うのか、子どもの頃の話をしたりして、それはそれで懐かしく思いましたが、それぞれに、お互いが知らない両親との思い出話もあり、新しい発見でした。

家族の時間には、重なるところと、それぞれだけの大切な部分とがあることを実感しました。

最近、車か新幹線で移動するばかりで、列車に乗ったのは久しぶりでした。

指宿へは何度か出かけていますが、いつもの車から見る風景が、違った景色に見えて、同じものが位置や角度で違って見えることも新鮮な驚きでした。

ここから真面目な話を少し・・・

この旅行で、見方を変えてみると物事の違う側面が見えてくることのあるのではないかとの思いが強くなりましたし、話してわかることばかりではなくても、やはり話をしてみることの大事さを感じました。

人間関係においても、立場の違う相手とお互いに譲れないところはありつつも、視点を変えたり、話をしてみることで、同意はできなくても折り合いをつけられることもあるのではないかと思います。

もちろん、理不尽ないじめや、様々なハラスメントは許されませんから、最終的には対立し、決着をつけることになると思いますが、そのような局面に至る前に、このような見方について少し考えてみてはいかがでしょうか？